

## スケジュール管理

2階「踊り場」と3階「防火扉」に、この1年間の『日程概要』を貼りだした。太ゴシックが昨年との変更分。変更は9月までに集中し、10月以降は例年と同じ予定。もちろん新型コロナウイルス感染防止の状況次第では変更も考えられる。

3年生の「この1年の流れ」■全体像をつかむために■赤字は昨年度との変更部分						【今年度6月改定】	
月	時期	学校行事	保護者会	個別相談	希望調査	出願準備	入試関連
4月	上旬	始業式			プレ希望調査		
新型コロナウイルス感染防止対策のための臨時休校措置							
6月	上旬	授業再開		教育相談			私学フェア(中止)
7月	上旬	期末テスト			希望調査①		公立合同説明会①(中止)
8月	上旬	修学旅行					私学・公立要項発表
9月	上旬	文化祭/体育祭			希望調査②		私学展
10月	上旬	模プロ/中間テスト	進路保護者会①				公立合同説明会②
11月	上旬	期末テスト	私立・公立前期選抜評定確定へ	三者懇談②			
12月	上旬	修業式		三者懇談③	進路専攻依頼書		
1月	上旬	学年末テスト	公立中期選抜評定確定へ		進路決定	私学願書完成	私学出願
2月	上旬					公立前期完成	公立前期出願
3月	上旬	卒業式				公立中期完成	私立受験/合否
						公立中期出願	公立中期受検/合否
						公立後期・通信制出願	公立中期合格
							公立後期合格

3年を基準にした日程です。テスト・模プロ・行事日程は学年により一部異なります。

9月までが『濃密』『過密』の状態になるだけに、先取りして6月・7月・8月を考える必要がある。例年なら、6月末には第1回「模擬試験」も実施されているが、今年はその案内すら来ていない。「3密」を避ける視点は模擬テストや入試でも考えられるのだろう。

では、「7月・8月をどのように過ごせばよいのか」のアドバイスを昨年の進路便りから確認しよう。

夏休みには次の「3つのことをせよ」と提案した。一つ目は「①学校説明会に参加せよ」。二つ目は「②学力をつけよ」。そして、三つ目が「③スケジュールを自己管理せよ」。それぞれの項目を実施する際の注意点を具体的に挙げていた。

①学校説明会に参加せよについては、今年はWEBでの説明会や「Zoom」を使った個別相談会などを企画する学校もある。各自確認をしてほしい。本校でも10月7日(水)に実施する「私立・公立の代表校による『講演会(説明会)』」は動画での説明に変更する予定で準備をしている。

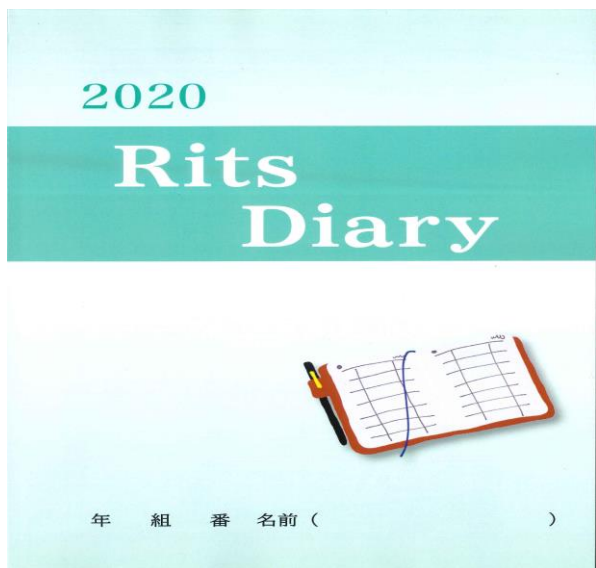
②学力をつけよについては、「過去問(赤本)は最低1年分は解け」と「苦手教科(強化教科)は問題集を一冊仕上げよ」と提案している。「やる気」の表れは「問題集の購入」に動く。しかし、問題集は購入だけしても、「みとく」「つんどく」「ほっとく」をしても学力にはならない。やはり、「やっておく(やっとく)」をやらないと学力にはならない。3年生はこの「やっ

ておく」の時期である、

最後の「③スケジュールを自己管理せよ」、これは学力向上に非常に重要。勉強の最大のコツは「毎日」やるである。これに「例外の日を作らない」が目標。君たちは、昨年「朝読書」についてこの「例外の日を作らない」を実行してきた。自信をもてばいい。同じことを学習について進めればよい。

そのために、大切なことは「スケジュール管理」。多くの高校では、このスケジュール管理を自分で行う「システム手帳」を持たせている。「桃山高校」「鳥羽高校」「橘高校」「両洋高校」「外大西高校」…。こうした自分のスケジュール管理が出来なければ、高校生ではないのだ。

昨年、外大西高校に進学した先輩がネット上で話題になった。「手帳甲子園」に出場し、優秀賞を獲得した。当時は高校1年生。今年は3年生になっ



ている。「手帳甲子園」とは、このシステム手帳を評価するもの。美しさだけではなく、**効率**のよさ、**メモの充実**などを評価する。この時のプレゼンは You Tube の動画として今も見ることが出来る。

そして、今年から『Rits Diary』が始まった。『Rits Diary』も「**スケジュールの自己管理**」。先輩の工夫を参考により良いものなればと思う。まず、栗中の先輩の工夫を挙げてみよう。

<p><b>【Point①】</b> 勉強／プライベートに分けて「目標」「やるべきこと」をまとめる。</p>	<p><b>【Point③】</b> 何をしたかを必ず記入</p>
<p><b>【Point②】</b> 授業などはわかりやすく。</p>	<p><b>【Point④】</b> 勉強はピンク！習慣的なことはミドリ！休息はオレンジ！</p>
<p>約束・役目・提出物は忘れないように</p>	<p>色分けすることとバランスがわかりやすく分析</p>
<p>勉強時間は必ず記入。1日のバランスもすぐ確認こう</p>	<p><b>【Point⑤】</b> カラフルだからいつ見ても元気になれる！！</p>
	<p><b>【Point⑥】</b> ポジティブな感想でやる気 UP</p>

彼女はスピーチの中でいくつかのQに答える中で、**自分の工夫の意図**を述べていた。

- “Q なぜ、自分は『起床時間』と『就寝時間』を記録するのか？”
- “Q なぜ、自分はピンクやミドリ、オレンジを使って色分けをするのか”
- “Q なぜ、『うまくいったこと』と『うまくいかなかったこと』に分けて振り返るのか”
- “Q なぜ、『1週間の振り返り』をフリースペースに記録するのか” 等々。

彼女も言っていた。「**最初は真っ白なページもあった**。どうすれば手帳に書くことが楽しくなるかと考えた」と。今、君たちの『Rits Diary』もやはり彼女と同じように真っ白なページが多いのだろうか。**真っ白なページは何でも書ける。そう君の未来図のように。可能性の白色。**



つづいて、他の「手帳甲子園」出場者の**工夫点**もあげてみよう。まず共通しているのは**フリースペース**をどう活用するか。

「**自分だけの項目**」を作っている人や「**枠を分割**」している人がいる。さしずめ Rits Diary なら「今日の日記」の欄を分割して、「学校生活」と「家庭生活」に分けるのも一つだろう。さらに、「伝えたいこと・聞いてほしいこと」の欄の分割もいい。伝えたい・聞いてほしいことにも何種類かあるだろう。「困りごと」や「悩みごと」, 「不安」や「心配」もあれば、「誉めてほしい」「自慢したい」こともある。それを分割して書くのも一つだ。

そして、**究極が下段の「ノート欄」の分割**。左側は「学習のページ」にし、右側は「『予定』と『結果(実績)』の欄にするのも一つの方法。**真っ白なページ**をどう埋めるか。それを考えるのが君の工夫だ。

今日一日の「振り返り」を、象徴する「試練」「感動」「感謝」など熟語で毎日記録する工夫をした人もいた。そして、一週間の象徴は四字熟語で。**可能性の白色を君の工夫で埋めよ！**